

市内景気動向調査概要

令和8年5月

【目的】

本市の景気動向調査は、市内中小企業の業況について、現状及び今後の見通しを調査することにより、市内の景気動向を把握し今後の商工施策に反映させるために行っているものです。

【調査方法】

市内500事業所を無作為抽出し、往復ハガキによるアンケート方式

【調査内容】

業況・売上高・経常利益・従業員数・資金繰りに関し、調査月及びその3ヶ月後の見通しについて尋ねております。回答は「良い」「同じ」「悪い」（従業員数は「不足」「適切」「過剰」）の3つから選択し、「良い」から「悪い」（従業員数は「不足」から「過剰」）を差し引いた数値（これらの数値をBSI値といいます。）の変化により、景気全体の趨勢を判断するものです。

【調査結果】

【単位：％】（「良い」－「悪い」＝BSI値）

		良い(不足)	同じ	悪い(過剰)	BSI値
業 況	現在	17.3%	43.2%	39.5%	-22.2%
	3ヵ月後	6.5%	47.6%	45.9%	-39.4%
売上高	現在	21.7%	37.0%	41.3%	-19.6%
	3ヵ月後	7.1%	45.7%	47.3%	-40.2%
経常利益	現在	19.0%	34.2%	46.7%	-27.7%
	3ヵ月後	6.0%	40.2%	53.8%	-47.8%
従業員数	現在	26.6%	71.8%	1.7%	24.9%
	3ヵ月後	26.1%	70.5%	3.4%	22.7%
資金繰り	現在	14.3%	54.9%	30.8%	-16.5%
	3ヵ月後	10.5%	52.5%	37.0%	-26.5%

※500事業所のうち197事業者からの回答あり

「BSI」数値とは

BSIとは、Business Survey Index の略で、景気の見通しについて「強気」・「弱気」の度合いを示すものです。

「プラス」ならば「強気」「楽観」、「マイナス」ならば「弱気」「悲観」を意味します。

【調査結果変遷】

B S I を見ると、前回調査と比較して全体的に回復傾向であることが伺えます。なお、インボイス制度への対応は済んでいるかについて、すでに対応している 63.5%、今後対応予定 2.5%、対応する予定はない 23.9%、登録したが取消した 0%との回答を得ました。(10.2%回答なし)

今回追加した、令和 8 年度の税制改正について知っているかについて、知っている 32.0%、知らない 57.4%との回答を得ました。(10.7%回答なし)
また、イラン情勢による影響は出ているかについて、既に出ている 39.6%、今後影響が出る 33.0%、影響なし 14.2%との回答を得ました。(13.2%回答なし)

【グラフ】

項目	現在	3ヵ月後	BSI値 [%] ^{※1)}	
			現在	3ヵ月後
業況			-22.2%	-39.4%
売上高			-19.6%	-40.2%
経常利益			-27.7%	-47.8%
従業員数			24.9%	22.7%
資金繰り			-16.5%	-26.5%

※1) BSI値(%) = 「良い(%)」 - 「悪い(%)」